

➤ 24日 木曜

民数



14:39 モーセがこれらのことばを、すべてのイスラエルの子らに告げると、民は嘆き悲しんだ。

14:40 翌朝早く、彼らは山地の峰の方に上って行こうとして言った。「われわれはここにいるが、とにかく【主】が言われた場所へ上って行ってみよう。われわれは罪を犯してしまったのだ。」

14:41 モーセは言った。「あなたがたはいったいなぜ、【主】の命令を破ろうとするのか。それは成功しない。

14:42 上って行ってはならない。【主】があなたがたのうちにおられないのだから。あなたがたは敵に打ち負かされてはならない。

14:43 そこには、あなたがたの前にアマレク人とカナン人がいて、あなたがたは剣で倒される。あなたがたが【主】に背いたから、【主】はあなたがたとともにはおられない。」

14:44 しかし、彼らはかまわずに山地の峰の方に上って行った。【主】の契約の箱とモーセは、宿営の中から動かなかった。

14:45 山地に住んでいたアマレク人とカナン人は、下って来て彼らを討ち、ホルマまで彼らを追い散らした。

「われわれはここにいるが、とにかく【主】が言われた場所へ上って行ってみよう。われわれは罪を犯してしまったのだ。」というのは、悪い発想ではないようにも感じるかも知れません。しかしこれもまた信仰から逸脱しています。

それは神が「荒野へ出発せよ(25)」と命じておられるのに、それに背く行為です。また勝利は神がもたらすのに、自分たちには実はできる力があるのだ

と勘違いしています。さらには「私たちは罪を犯してしまった」と悔い改めているようですが、その罪の本質は戦わなかったことではなく、主に背いたことです。なのにここでまた主に背こうとしています。

このように私たちも本当の悔い改めとは違うことをしないように、注意しなければなりません。罪とは行為がどうであったかというよりも、神への背きが根本問題なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

